

公益社会演習 a・b

國眼真理子・澤邊みさ子

後期

◎武田真理子

【テーマ】

小学生を対象にした「公益を考える授業」の実践とノウハウ・ブックの作成

【講義概要】

公益とは「行政、企業、NPO など、また市民一人ひとりが、自分を越えた他者への尊重を原点とし、生活、労働、地域社会、環境などをより良く調和のとれたものにするための活動や考え」であり、現在、地域社会や国際社会が抱える様々な課題の解決のためには、立場を超えて、一人ひとりの個人が公益の視点を理解し、それに添った考えを持ち、活動を行うことが求められている。本演習では、家族、地域コミュニティや学校などの多様な主体に支えられ、生活を送る子どもの頃に「公益」の視点で物事を考える機会があることの重要性に立脚し、そのための「公益を考える授業」の具体的な方法と内容について庄内地域の小学校教諭の協力を得ながら研究・開発を行い、実際に小学生を対象に授業を行う。後期は授業実践から得られたノウハウを来年度以降の実践者に伝達することを目的として、「ノウハウ・ブック」を作成する。

(本演習は日本財団助成事業「Koeki Kids Project」の一環として開講する。)

【講義のねらい・到達目標】

- ・小学生を対象にした「公益を考える授業」の研究・開発と授業の実践を通して、生徒とのかかわり方や、わかりやすく伝える方法について学ぶ。
- ・学外の「公益を考える授業」の実践経験者との相互研修、情報交換を通して、小学生が「自分ができること」を考えるために有効な方法について研究を深め、その成果を「ノウハウ・ブック」にまとめる。

【授業計画】

- ① ガイダンス：演習の目的と概要説明（國眼・澤邊・武田）
- ② 「公益を考える授業」の実践経験者から学ぶ（1）（武田、10月1日（土）「平成23年度公益教育セミナー いのち・まなび・かかわり～公益の心を育む～」における発表、参加）
- ③ 前期演習内容の振り返り（澤邊）
- ④ 「公益を考える授業」の方法論の研究（1）（外部講師・國眼・澤邊・武田）
- ⑤ 「公益を考える授業」の方法論の研究（2）（外部講師・國眼・澤邊・武田）
- ⑥ 「公益を考える授業」の実践（1）＜グループA＞（國眼・澤邊・武田）
- ⑦ 「公益を考える授業」の実践（2）＜グループB＞（國眼・澤邊・武田）
- ⑧ 授業の実践の振り返り、ノウハウの整理（國眼・澤邊・武田）
- ⑨ 「公益を考える授業」の実践経験者から学ぶ（2）－①（武田、11月12日（土）平成23年度山形県教育共励会「山形の子ども育成事業」への参加）
- ⑩ 「公益を考える授業」の実践経験者から学ぶ（2）－②（同上）
- ⑪ 「公益を考える授業」の実践経験者から学ぶ（3）－①（國眼・澤邊・武田、11月下旬「結塾ネットワーク（全国の若者市民塾）」との地域づくりと教育に関する合同研修会への参画）
- ⑫ 「公益を考える授業」の実践経験者から学ぶ（3）－②（同上）
- ⑬ 「公益を考える授業」のノウハウの整理・まとめ
- ⑭ 「ノウハウ・ブック」の作成（國眼・澤邊・武田）
- ⑮ まとめ、発表（國眼・澤邊・武田）

【評価方法】

出席、調査活動への参加貢献度、報告書の内容によって評価を行う。

【その他（テキスト、参考書、注意事項等）】

- ・テキストは指定しない。学習内容に添ってプリント、資料等を配布する。参考文献についても適宜、紹介する。

【受講生への一言】

- ・演習の開講時間は受講者と相談した上で決定する。ガイダンスに必ず出席すること。